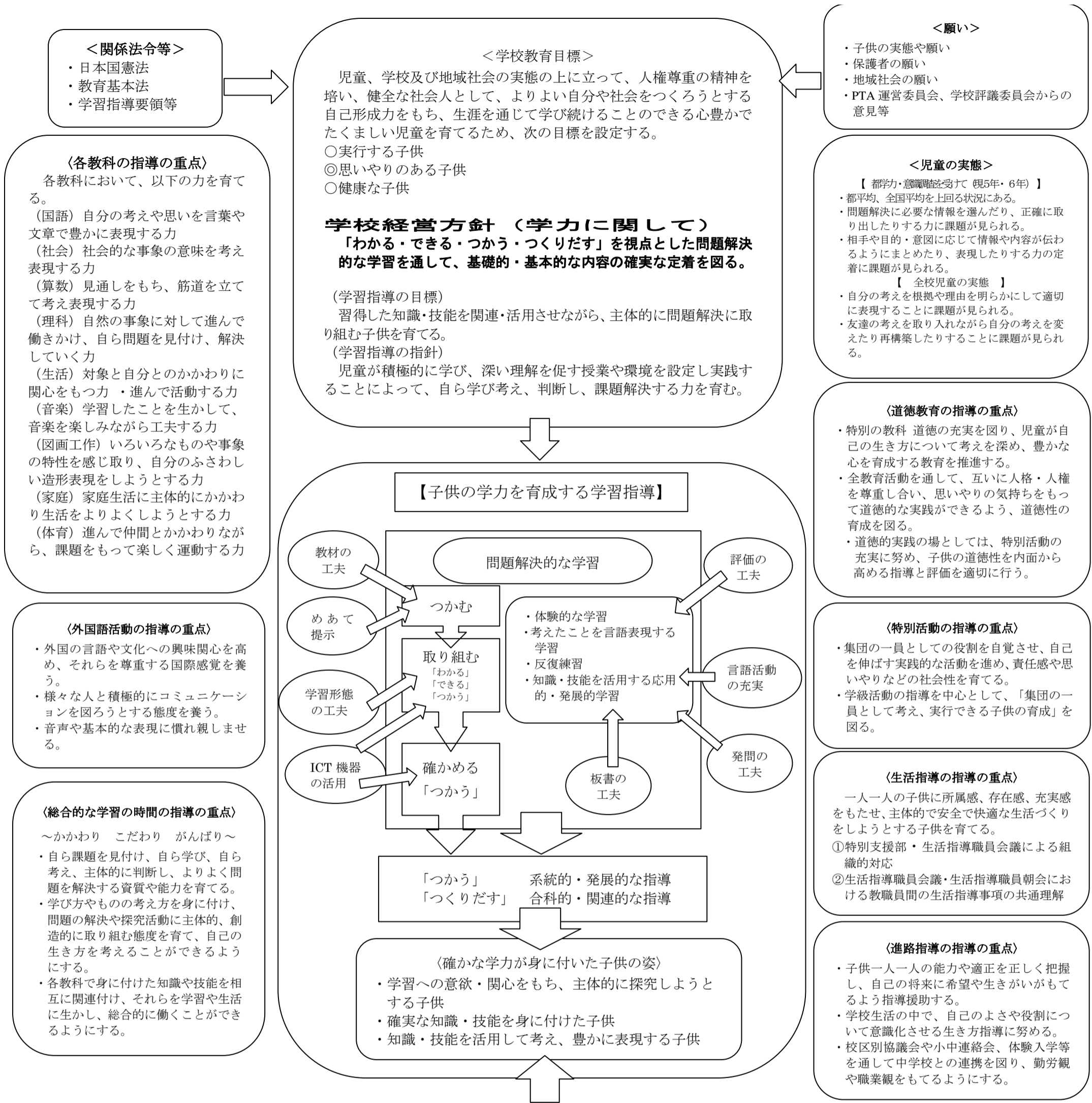


平成30年度 学力向上を図るための全体計画



本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫・教育環境の整備	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> ・言語に関する能力を育成する中核的な国語科の書くことを中心とした言語活動の充実 ・「授業過程5則」に基づく授業(開三授業スタンダード)の推進 ・評価を生かした指導の工夫 ・算数科における習熟度別指導の工夫 ・発展的な学習・補充的な学習の開発 ・体験的・問題解決的な学習の重視 	<ul style="list-style-type: none"> ・「褒めて認め、誇りと自信をもたせる」教育指導・教育環境の推進 ・問題解決的な学習を主体とした学習過程の充実 ・区立図書館の学校支援モデル授業を活用した学校図書館の充実と、小竹図書館と連携した読書活動 ・問題解決的な学習を充実させるためのコンピュータ、電子黒板、ICT機器、学校図書館等の活用 ・週2回の「ぐんぐんタイム」(東京ベーシック・ドリルの活用)と、週1回の読書タイムの実施 ・「とりもどしタイム」による補習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の一員として考え、実行できる子供の育成を視点とした特別活動の指導方法の研究 ・校内研究における6回(全学年)の授業研究の実施と、その際の事前授業、事後検証授業の公開を通じた教員の授業力の向上 ・校内 OJT の充実と効果還元 ・教員間における相互授業参観の実施 ・小中一貫研究グループ実践校として、他小中学校と連携した社会に役立つ言語能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のよさを見取ることができるような評価の工夫 ・授業改善を図るための自己点検シートや授業観察シートの活用 ・評価計画の作成と改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開、道徳授業地区公開講座の推進 ・保護者の教育活動への参加 ・地域の人材確保と活用 ・小学校見学を主とした幼保小連携の推進 ・教育内容に合った地域施設の活用と連携体制の確立 ・保護者・外部評価等を活用した授業改善、教育活動の更新・改善 ・東京地域未来塾を活用した放課後算数教室の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の校区別協議会での授業公開による相互理解と情報交換 ・「社会に役立つ言語能力の向上」を視点とした、開進第三中学校・開進第二小学校と連携した指導体制の確立 ・3校共通実践(あいさつ奨励・読書活動実施・意見発表・スピーチ学習等)と小中人的交流(出前授業・本の読み聞かせ部活動交流等)の推進 ・課題改善カリキュラムの活用

